

## 令和4年度 第1回 立川市通学路等安全推進会議

日 時：令和4年11月8日（火） 10:00～11:15

場 所：市役所 205 会議室

出席者：鈴木委員（立川警察署 交通課）

吉岡委員（立川市立小学校長会）

石原委員（立川市小学校PTA連合会）

大和田委員（市交通対策課） 加藤委員（市交通対策課）

卯月委員（市道路課） 羽鳥委員（市道路課） 荻村委員（市道路課）

中村委員（市道路課）

杉浦委員（市学務課） 田中委員（市学務課）

事務局：菅原（市学務課）

- 
- 議事
1. 令和4年度通学路合同点検の内容及び対応について
  2. 個別の通学路関係問い合わせについて
  3. GLP昭島プロジェクトの通学路への影響について
  4. その他

## 議事要旨

会議座長である杉浦委員（学務課長）より、今回会議の目的等について、下記のとおりあいさつがあった。

- ・市は、平成 30 年度に作成した立川市通学路安全プログラムに基づき、3 年かけて市内全小学校において通学路合同点検を実施し、子どもの安全・安心の向上に取り組んでいる。

しかしながら、児童の巻き込まれる事故は無くなってはおらず、昨年度も下校中に横断歩道を渡っていた児童が自動車に接触したという事故や放課後に公園から道路に飛び出した児童が自動車に接触したという事故が起きている。

全ての事故を防ぐことは難しいが、通学路上の課題について、何ができるのか、どうすればより安全が確保できるのかという点を関係機関とともに検討する場として、通学路等安全推進会議を開催した。

本日の会議では、通学路上の課題について情報共有を図り、児童の安全・安心のためにどのような対策をとることができるのか、対応が難しい箇所について今までと異なる視点で新しい取り組みが出来ないのかということを協議していきたい。

### 1. 令和 4 年度通学路合同点検の内容及び対応について

事務局より、今年度の通学路合同点検の概要を説明した後、出席者より、意見をもらった。

#### ○ガードレール設置について

- ・設置にあたっては、道路の幅員や住民の出入り口の場所に加えて、当該場所の住民の了解を得られるかという点も条件になる。

今年度の通学路合同点検において、ガードレールを設置することになった箇所についても、住民より、自動車の出入りが大変になるという問い合わせがあり、説明をして了解をいただいたという経緯があった。

#### ○スクールゾーンの進入車両について

- ・警察による取締りは順次行っている。取締りを受けて、スクールゾーンの通行許可証を申請に来たという住民も見られるので、効果は出てきていると思う。
- ・スクールゾーンを通行するのに許可証が必要であることを知らないという人が意外という。

#### ○地域による見守りについて

- ・スクールゾーンのウマ出しは P T A が当番制で実施していて、市内全体で見てもそれなりに出来ていると思う。
- ・ P T A において、ウマ出しや旗振りといった通学路の安全についての関心は高くないように思う。警察に取締りをさせていただく方が効果的ではないか。
- ・ P T A の関心が高くないというのは心配な点である。登下校の安全は保護者の協力無くして成り立たないので、ぜひ関心を持っていただきたい。
- ・市内の小学校で、子どもが家を出て見えなくなるまで、保護者が玄関先で見守るという取り組みを行っているところがある。決まった場所へ旗振りに行くよりは負担が少ないと思う。
- ・保護者への啓発活動が重要になってくる。 P T A だけでは難しいので、警察や市による取り組みを引き続きお願いしたい。
- ・企業に児童の見守りを依頼し、その代わりに企業名を学校だより等に載せるというような

## 議事要旨

ことは可能か。実現できれば、子どもの安全・安心の取り組みに広がりを持つ。

- ・企業名をどのような形でアピールするかが課題となるが、地域の企業に協力していただくというのはたいへん有効であると思う。
  - ・市内の商業施設で、車両誘導の警備員が児童の登下校時に見守りをしてくれているところがあり、また、バス会社の従業員が同様に見守りをしてくれているところもある。
- 他にも協力していただける企業はあるのではないか。

### ○自転車について

- ・自転車の安全利用についての啓発活動は行っているが、自転車の事故は年々増加している。ここで警察の方で、自転車の危険運転に対し取締りを強化するという話が出ているが、事故防止には有効であると思う。
  - ・令和元年度に東京都において、自転車安全利用指導員という人たちを町中に配置し、自転車利用者に指導してもらおうという取り組みを実施したところ、その年度だけ、自転車関係の事故件数が目に見えて減少した。
- 立川市においても、同様な取り組みができればと思う。

## 2. 個別の通学路関係問い合わせについて

- ・学務課では、通学路合同点検とは別に、電話等で個別に受けた通学路についての問い合わせ内容とそれに対する現時点の対応内容を記録している。
- あらためて、本日の会議において関係機関と情報を共有し、取り組めるものがあれば、取り組んでいただきたい。
- ・PTA連合会と教育委員会部課長との懇談会といった機会があると、事前に保護者から意見を吸い上げるが、学校によってやり方が異なる。
- 保護者全員から意見を吸い上げる環境が無いと、保護者の通学路に対する意識も高まらないと思うが、そもそも学校や教育委員会が保護者から意見を吸い上げることに消極的であるように感じられる。
- ・保護者から意見をいただくことは、しかるべきことだと認識している。ただし、保護者全員から直接意見をいただくことになると、重複するものも出てくると思われるので、PTAという団体内で取りまとめて伝えてほしい。
  - ・横断歩道を設置してほしいという問い合わせがあるが、どのような基準で設置しているのか。
  - ・希望する場所の状況を見ての判断となるが、市街地においては、おおむね100m以上の間隔での設置となる。特定の人だけが利用するのではなく、皆が利用できるような場所で、待機場所も必要になってくる。

## 3. GLP昭島プロジェクトの通学路への影響について

事務局より、下記のとおり、GLP昭島プロジェクトの概要を説明した。

- ・昭島市の昭和の森ゴルフコースに建設予定の大規模物流施設で、令和10年度の供用開始後は、一日5,800台、多いときは一日11,600台の車両の出入りが見込まれている。
- ・昭島市内のプロジェクトであるが、立川市の西砂小や松中小と距離が近いので、両校の通

## 議事要旨

学路への影響が懸念されており、9月に開かれた令和4年第3回立川市議会定例会においても、西砂小PTAより、交通事情の悪化が想定されるので、子どもたちの安全に即した建設計画を求める旨の請願が出され、採択された。

- ・当該プロジェクトは東京都の環境影響評価制度の対象で、環境に影響が及ぶ地域として、立川市も意見を出している。
- ・昭島市内の開発に関わることで、特定の地域の話ではあるが、これだけの規模の開発は珍しいことで、かつ立川市内の道路事情に大きく影響が出るおそれがあることから、本日の会議の議題に挙げた。

上記説明を踏まえ、出席者より、意見をもらった。

- ・当該プロジェクトで影響が出ると思われる宮沢中央通りは、そもそも道路計画上は街区幹線道路という生活者が利用することを想定した道路で、大型車が多数走行するという位置付けの道路ではない。物流拠点の主要走行ルートに想定すべきではない。
- ・昭島市と情報交換しながら、立川市への影響がどのようなものなのかを把握し、問題が起きないよう事業者に対し、求めていきたい。  
そのためにも東京都の環境影響評価制度において、環境影響評価調査計画書案や環境影響評価書案といった場面で立川市の意見を伝えていく。
- ・西砂小東側の宮沢中央通りは歩行者と自転車との衝突を防ぐため、自転車ナビマークを設置したが、大型車の通行が増えると、自転車が歩道に流れることが予想される。
- ・今回の会議において、具体的な対応策を出すことは難しいが、こういったプロジェクトが進行中で、このような影響が予想されるということを議論するきっかけになってほしい。

## 4. その他

### ○立川三中北側道路について

- ・地域住民の要望により、自治会、立川三中、立川三中PTA、立川警察署、立川市交通対策課、道路課、学務課が一堂に会した会合が7月に行われた。

市としては、今までの経過を説明し、併せてPTAからの要望を聞いた上で、具体的にどのような対応策を求めるのか、対応策が実施できるよう地域住民の総意をまとめてほしい旨を伝えた。

地域住民からの総意が出たら、対応策の実施を検討する予定。

- ・ガードレール設置の話の際にも出たが、ハード面の対応策を採ると、苦情の出ることが往々にしてある。

通学路点検等でハード面の対応策をとることになった場合にも、地域住民の総意ということで、学校等で地域住民への周知をしていただくことが必要と考えている。

### ○自転車の安全利用について

- ・まだ自転車の交通ルールがわかっていない人が多い。その周知を徹底するだけでも自転車事故は大きく減少すると思われる。周知の方法はいろいろとあるのではないかと。
- ・自転車の交通ルールの徹底は必要だが、自動車との関係で、自転車利用者がかえって危険な目に遭う場合がある。警察の方で、危険と思われる地点に立って、自転車と自動車がと

## 議事要旨

もに安全に走行できるよう整理してもらえると、ありがたい。

GLP昭島プロジェクトの話の際にも出たが、せっかく自転車ナビマークを設置しても、トラック等が多く走ると自動車との衝突を避けるため、自転車が歩道を走り、歩行者が危険な目に遭うということで、市にも苦情がたいへん多く寄せられている。

- ・警察においても、自転車の安全運転のキャンペーンをあらためて実施している。ここで自転車安全利用五則も見直しが行われたので、新しいパンフレットも配布していく予定。
- ・広報たちかわ10月10日号において、自転車のルールとマナーについての記事が出ており、自転車で街中を走る際の素朴な疑問等がわかりやすく載っているので、活用してみてもどうか。

### ○今後の予定について

今年度の通学路合同点検については、年度末までに各点検箇所の対応策の進捗状況を確認し、市ホームページに公開していく。

なお、今まで使用してきた対策一覧表はリニューアルし、市ホームページ公開前に各関係機関に提示する。